

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【公開番号】特開 2005-103329 (P2005-103329A)

【公開日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報 2005-016

【出願番号】特願 2005-11656 (P2005-11656)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 5/15

【F I】

A 6 1 B 5/14 3 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 7 日 (2005.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

身体部分とくに指頭腹面からの体液の流出を刺激するシステムにおいて、一次方向における前記身体部分の押圧力の一部を一次方向に対して垂直な力の成分による二次方向運動に変換し、これにより当該身体部分部位の内圧が高められるように構成した 1 つの圧縮ユニットを含み、該圧縮ユニットは変形性材料からなる押圧部分を有し、  
該押圧部分が前記身体部分が圧接される周縁を備え、  
該周縁が環状に形成されている  
ことを特徴とするシステム。

【請求項 2】

身体部分とくに指頭腹面からの体液の流出を刺激するシステムにおいて、一次方向における前記身体部分の押圧力の一部を一次方向に対して垂直な力の成分による二次方向運動に変換し、これにより当該身体部分部位の内圧が高められるように構成した 1 つの圧縮ユニットを含み、該圧縮ユニットは変形性材料からなる押圧部分を有し、  
該押圧部分が 1 つの孔を有し、穿刺装置が内圧の高められた前記部位に該孔を通して刺入し得る  
ことを特徴とするシステム。

【請求項 3】

前記圧縮ユニットに対して相対的に前記穿刺装置が変位し得るようにして配置されている  
ことを特徴とする請求項 1 または 2 記載のシステム。

【請求項 4】

検体、とくにグルコースの濃度を測定するための 1 つの分析ユニットが組込まれ、ために前記分析システムが内圧の高められた前記部位に前記圧縮ユニットの孔を通して接近せられて体液を吸収することを特徴とする請求項 1、2 または 3 記載のシステム。

【請求項 5】

検体、とくにグルコースの濃度を測定するための 1 つの分析ユニットが組込まれ、前記分析システムが少なくとも 1 つの試験片を含んでいることを特徴とする請求項 1、2 または 3 記載のシステム。